

Course number	U-LAS70 10001 SJ50				
Course title (and course title in English)	ILASセミナー：コントラクトブリッジで身に着ける論理的思考力 ILAS Seminar :Learning of logical thinking by contract bridge	Instructor's name, job title, and department of affiliation	Graduate School of Agriculture Professor, KOSUGI KENICHIROU		
Group	Seminars in Liberal Arts and Sciences	Number of credits	2	Number of weekly time blocks	1
Class style	seminar (Face-to-face course)	Year/semesters	2024・First semester		Quota (Freshman) 25 (15)
Target year	Mainly 1st year students	Eligible students	For all majors		Days and periods Tue.5
Classroom	12, Yoshida-South Campus Academic Center Bldg. East Wing			Language of instruction	Japanese
Keyword	コントラクトブリッジ / 論理的思考力 / 情報処理力 / 確率と統計 / 国際的な社交性				
[Overview and purpose of the course]					
<p>この授業は、世界で最も知的かつエキサイティングなゲームといわれるコントラクトブリッジ（以下、ブリッジとする）を通じて、論理的思考力を養うことを目的としている。</p> <p>ブリッジは世界中に約1億人の愛好家がいるカードゲーム（トランプで楽しむゲーム）であり、世界ブリッジ選手権や学生選手権も開催されている。アジア競技大会では、マインドスポーツのカテゴリーにおいて、チェスや囲碁などと共に正式競技となっており、2023年杭州大会では、日本チームが男子団体に銅メダルを獲得している。</p> <p>ブリッジのゲームは、契約（コントラクト）とその履行・妨害によって構成されており、複雑に絡んだ情報を確率的に整理した上で最適解を論理的に導き出す思考力が必要とされる。ブリッジにより培われる論理的思考力は、今後の研究活動に役立ち、ITの基礎となるプログラミングやアルゴリズム開発などにも貢献する。また、現代社会の根底にある「契約と履行」の概念を具現化して学ぶこともできる。ブリッジは世界的に広く普及しており、国内でも近年知名度が上がりつつあるため、国内的・国際的な教養・社交性を身に着ける上でも大いに役に立つ（実際に私は、アメリカ留学中にブリッジを通じて多くの研究者と交流することができた）。</p> <p>国内では、東京大学、早稲田大学、大阪大学などでもブリッジの授業が行われた実績がある。本授業は、これらの授業を参考にしつつ、毎回の座学と実習を通じてブリッジのゲームを楽しみながら、論理的思考力を自然に身に着けることができる構成となっている。</p>					
[Course objectives]					
<p>コントラクトブリッジの基本的な技術を習得し、ゲームを楽しむことができる。</p> <p>情報処理のスキルを身に着け、論理的思考をすることができる。</p> <p>教養を身に着け、社会活動の幅を広げることができる。</p>					
[Course schedule and contents]					
第1回	ガイダンス，イントロダクション，ブリッジのルール説明				
第2回	ミニブリッジで学ぶ論理的思考：トリックの取り方				
第3回	ミニブリッジで学ぶ論理的思考：切り札なしでのプレイ				
第4回	ミニブリッジで学ぶ論理的思考：切り札ありでのプレイ				
第5回	ミニブリッジで学ぶ論理的思考：フィネス				
第6回	ミニブリッジを実戦形式でやってみる				
第7回	ブリッジで学ぶ論理的思考：ビディングシステムの考え方				
Continue to ILASセミナー：コントラクトブリッジで身に着ける論理的思考力(2)					

- 第8回 ブリッジで学ぶ論理的思考 : 1スーターハンドのビディング
第9回 ブリッジで学ぶ論理的思考 : バランスハンドのビディング
第10回 ブリッジで学ぶ論理的思考 : 2スーターハンドのビディング
第11回 ブリッジで学ぶ論理的思考 : オーバーコール
第12回 ブリッジで学ぶ論理的思考 : ディフェンス
第13回 ブリッジを実戦形式でやってみる
第14回 ブリッジを通じて社会活動の幅を広げる
第15回 フィードバック (個別の質問等に対応する)

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

平常点 (授業への参加状況, 授業内での発言, 実習への取り組み状況) により評価を行う。到達目標の達成度を基準とする。

4回以上授業を欠席した場合は不合格とする。

[Textbooks]

Not used

自作の資料を用いて授業を行う。

[References, etc.]

(References, etc.)

清水 映樹 『ゼロからのコントラクトブリッジ』 (星雲社, 2013) ISBN:9784434183799 (入門書。復習に役立ちます。)

[Study outside of class (preparation and review)]

予習は特に必要なし。

分かりやすく解説するので, とにかく毎回の出席が重要。

復習をすることで理解が深まり, 学習の面白みが増す。

[Other information (office hours, etc.)]

授業に関する学習コミュニティとしてPandAを活用します。

授業中の積極的な質問や発言を期待します。

授業内容に関する質問やリクエストはPandAのメール機能などを活用して受け付けます。